

核兵器廃絶へ結束一層

戦争はいやだ、平和を守ろう会 諏訪で総会・講演会



核兵器廃絶の実現に向けて結束を誓った総会

恒久平和と核兵器廃絶の実現に取り組み、諏訪地方有志の団体「戦争はいやだ、平和を守ろう会」(山田皓一会長)は22日、総会と講演会を諏訪市湯小路の市総合福祉センター湯小路いきいき元気館で開き、今年度事業計画と予算、役員を決めた。

山田会長はあいさつで「諏訪市議会に提出した核兵器禁止条約への署名・批准を国に求める意見書は不採択となつてしまったが、人間が作った兵器、戦争は今すぐやめなくてはならない。小さな取り組みでも継続は力。皆で一緒に活動を続けたい」と一層の結束を呼び掛けた。

新年度も引き続き核兵器禁止条約への日本の参加を求める行動をし、8月6日には「平和の鐘をつく集い」を開催、秋には阿智村の満蒙開拓平和記念館見学などを予定する。戦後80年の節目にあたっての

事業も企画したい考えた。役員改選は現職を再任した。

山田会長は「核兵器禁止条約への署名に向けて一般市民をより多く巻き込んで支持を広げたい。若い世代の入会にもつながれば」としている。

講演会では信濃毎日新聞社論説顧問の丸山貢一さんが「戦争とジャーナリズム」と題して話した。

(日比野真由美)